

みんながチャレンジ 明日に向かって 本気でGO!



# 本郷の輝き

横浜市立本郷小学校  
学校学年便り 6月号  
令和5年5月31日

横浜市栄区中野町16-1 電話 891-6813

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongo/>

## 「きびしさ」と「やさしさ」

校長 瀧田 健二

夏を思わせるような暑い日が続いたかと思うと、朝晩が冷え込んだり雨が続きたりと、子どもたちも体調を崩しがちになります。元気で楽しい学校生活を送れるようご家庭でも子どもたちの健康にご留意ください。

さて、季節はまもなく梅雨を迎えようとしています。紫陽花が少しばかり色づき始めています。自然の植物がたくましく伸びゆく様は、私たちに勇気と希望を与えてくれます。草や木の成長になくてはならないのが、「雨の日」であり、また「よく晴れた日」です。どちらも丁度よいバランスで繰り返されるので、幹や枝は大きくなり、葉は勢いよく生い茂ります。もし、雨ばかり降っていけば、植物は根が弱ってしまいうまく育ちません。逆に、晴れの日ばかりでも、水分がなくなって枯れてしまいます。

このように植物の成長には、反対のもの同士が必要です。子どもたちの心の成長にも、雨と晴れのようにまったく反対のものがが必要です。それらは「きびしさ」と「やさしさ」です。子どもたちは、「きびしさ」だけでは気持ちがすさんだり、いじけたり、いらいらしたりして、良い心は育ちません。また、逆に「やさしさ」だけでも甘えが出たり、わがままが出たりして、たくましい心は育ちにくいものです。子どもたちは、一日の中で何度か注意されたり、褒められたりする機会があります。ここで大切なのは、きびしく叱られたり、指摘されたりした後に、なぜ注意されたのか気づくようにしてあげることです。

一方的に叱ったりするだけでは子ども自身が気づくチャンスを大人が奪ってしまうことになります。自然の植物がたくましく伸びゆくように、本郷小学校の子どもたちを学校・家庭・地域みんなで「たくましい子」に育てていきたいと思えます。

